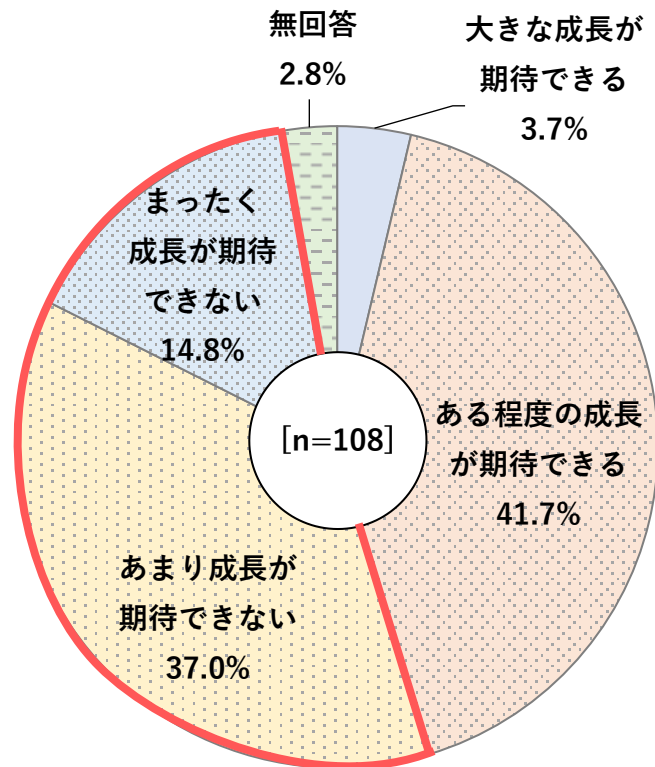


問 6 今後の経営状況の展望

「成長が期待できない」が 51.8%を占める。
業種別にみると、主にサービス業全般に関しては成長が期待できないとなっている。



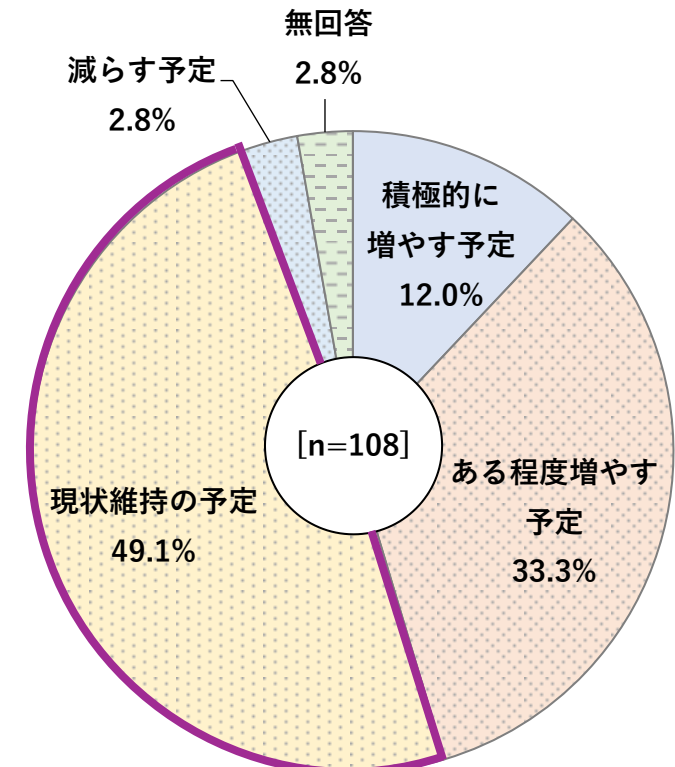
■業種別クロス

	回答した事業者の業種
大きな成長が期待できる	—
ある程度の成長が期待できる	製造業／建設業／医療、福祉／金融業、保険業／電気・ガス・熱供給・水道業／運輸業、郵便業／農業、林業
あまり成長が期待できない	卸売業、小売業／宿泊業、飲食サービス業／不動産業、物品賃貸業／生活関連サービス業、娯楽業／鉱業、採石業、砂利採取業／複合サービス業
まったく成長が期待できない	—

※クロス集計にて、1 番多い回答の箇所のみ記載。
※同割合の業種は傾向が読めないため不記載。

問 7 今後の雇用の予定

「現状維持の予定」が 49.1%を占める。
一方で、総じて雇用を増やす予定とする業種は 45.3%となっている。



■業種別クロス

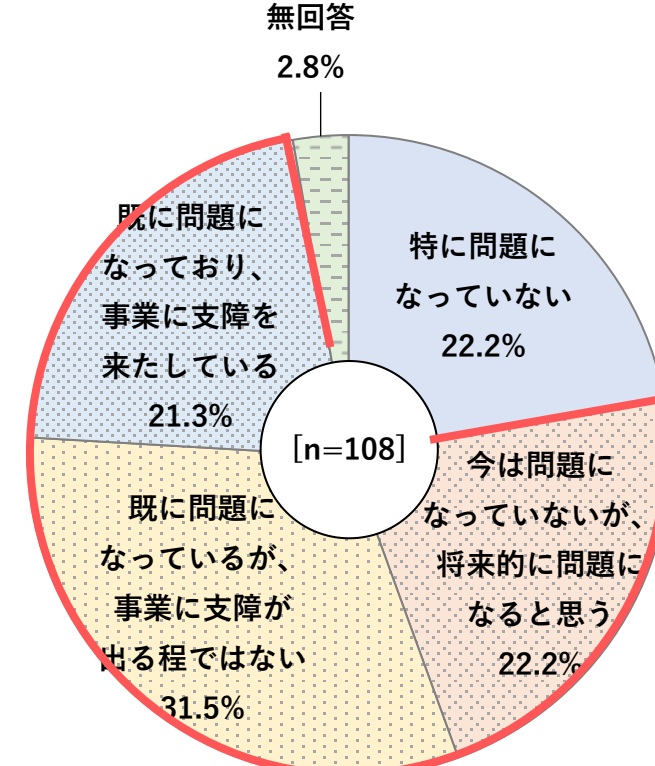
	回答した事業者の業種
積極的に増やす予定	農業、林業
ある程度増やす予定	製造業／建設業／運輸業、郵便業／教育、学習支援業／複合サービス業
現状維持の予定	卸売業、小売業／医療、福祉／宿泊・飲食サービス業／その他のサービス業／金融業・保険業／不動産業、物品賃貸業／生活関連サービス業、娯楽業／電気・ガス・熱供給・水道業／学術研究、専門・技術サービス業／鉱業、採石業、砂利採取業
減らす予定	—

※クロス集計にて、1 番多い回答の箇所のみ記載。
※同割合の業種は傾向が読めないため不記載。

問 11 人材不足の状況と要因・人材不足解消に向けた取組

人材不足が問題となっている（将来問題になると思う含む）企業が 75.0%を占める。また、21.3%は既に事業に支障を来たしている。
業界の人気や人口減少による人手不足が人材不足の要因と考えられている。解消に向けては、賃上げや休暇制度などの労働環境改善が特に行われている状況。

■人材不足が課題となっているか。



■業種別クロス

	回答した事業者の業種
特に問題になっていない	その他のサービス業／金融業、保険業／不動産業、物品賃貸業／学術研究、専門・技術サービス業
今は問題になっていないが、将来的に問題になると思う	医療、福祉／複合サービス業
既に問題になっているが、事業に支障が出る程ではない	製造業／卸売業、小売業／農業、林業／鉱業、採石業、砂利採取業
既に問題になっており、事業に支障を来たしている	建設業／生活関連サービス

■従業員数別クロス

	回答した事業者の従業員数
特に問題になっていない	0～5 人
今は問題になっていないが、将来的に問題になると思う	6～30 人
既に問題になっているが、事業に支障が出る程ではない	31～300 人
既に問題になっており、事業に支障を来たしている	1 番多い回答なし

※クロス集計にて、1 番多い回答の箇所のみ記載。
※同割合の業種は傾向が読めないため不記載。

■貴社が人材不足である主な理由

項目	割合
人材不足の要因（上位 5 位）	
自業種の属する業界の人気がないため	32.1%
人口減少や少子高齢化で働き手が減っているため	27.2%
業務に必要な資格・技術等の取得・修得が難しいため	12.3%
給与や労働時間、休暇日数などの条件が合わないため	11.1%
その他	8.6%

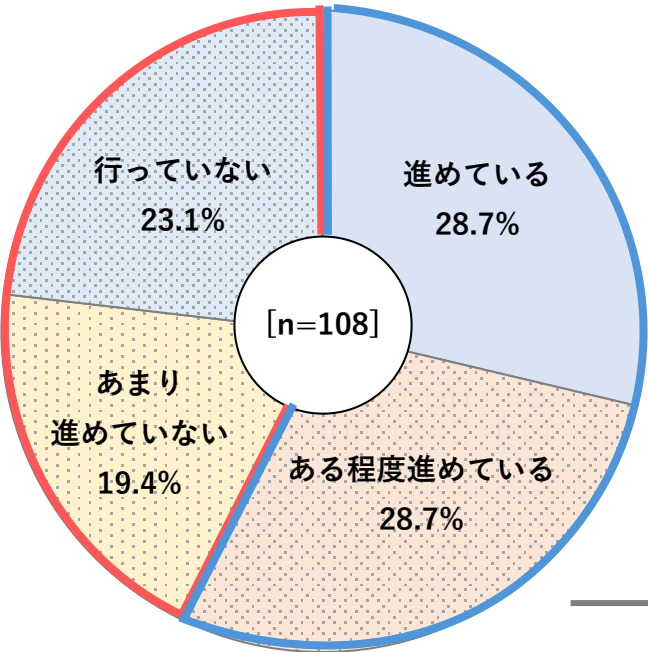
■人材不足の解消に向けて行っている（行う予定の）取組

項目	割合
人材不足解消に向けた取組（上位 5 位）	
賃上げや休暇制度など労働環境の改善	65.4%
業務に必要な資格・技術等の取得・修得などに対する支援	32.1%
デジタル技術の活用などによる業務の効率化	32.1%
就職説明会や転職相談会など求人活動の強化	29.6%
自業種の魅力発信など広報活動の強化	24.7%

問 12 女性が活躍するための取組の状況、女性活躍推進に効果のある取組

「進めている」「ある程度進めている」あわせて 57.4%。「あまり進めていない」「行っていない」あわせて 42.5%
効果があった取組では就業・就業時間や時間外労働等、労働時間に関する取組が多い。女性活躍が進んでいない理由は、家事や育児などによる制約が挙げられている。

■女性が活躍するための取組を行っているか



■女性活躍の推進に効果があった取組

項目	件	割合
女性活躍推進に効果があった取組（上位 5 位）		
始業または就業時間の調整		38.7%
時間外労働の制限		25.8%
出産や育児による退職者の再雇用制度		22.6%
フレックスタイム制度		17.7%
深夜・休日勤務の免除		16.1%

■女性活躍の推進が進んでいない主な要因

項目	件	割合
女性の活躍が進んでいない主な要因（上位 5 位）		
現状のままで特に問題がないため		65.2%
家事や育児などにより、時間外労働や転勤に制約があるため		17.4%
本人が昇進を望まないため		10.9%
わからない		6.5%
途中退職してしまうため		4.3%
従業員（管理職・経営者を含む）の意識や理解が不十分であるため		4.3%

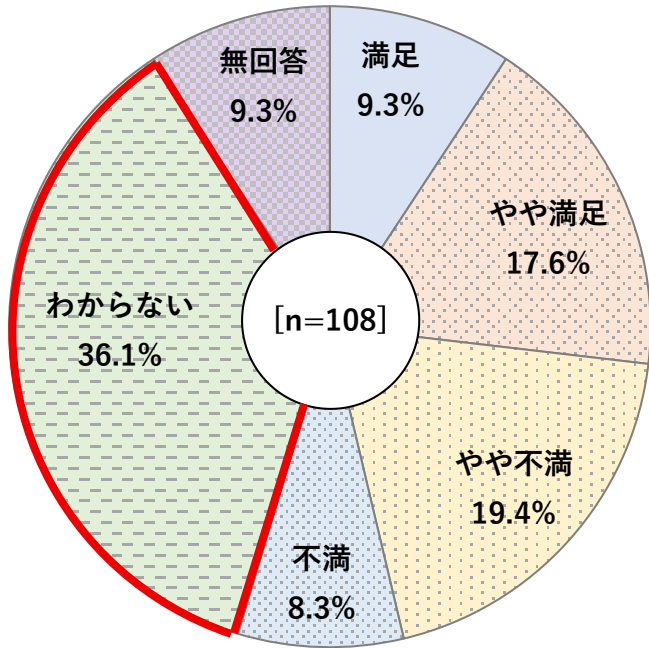
■業種別クロス

	回答した事業者の業種		回答した事業者の業種
進めている	製造業／金融業、保険業／不動産業、物品賃貸業／生活関連サービス業、娯楽業／複合サービス業	あまり進めていない	教育、学習支援業／鉱業、採石業、砂利採取業
ある程度進めている	医療、福祉／その他のサービス業／農業、林業	行っていない	建設業／宿泊業・飲食サービス業

※クロス集計にて、1 番多い回答の箇所のみ記載。
※同割合の業種は傾向が読めないため不記載。

問 16 坂出市の取組評価

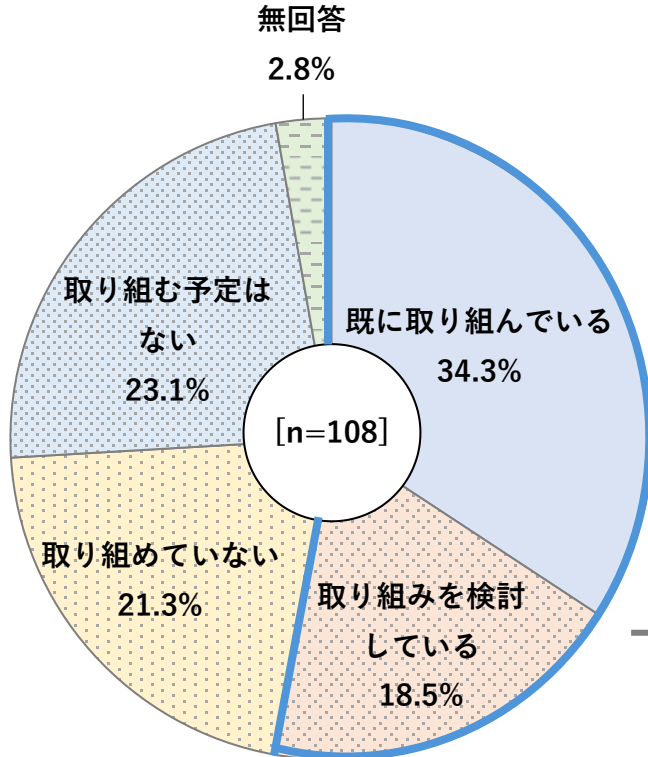
「わからない」が最も多い。
満足と不満はほぼ同数となっている。



問 13 DX に関する取組を行っているか

「既に取り組んでいる」「取り組みを検討している」あわせて 52.8%。
課題では IT 人材や IT にかける人材・予算の不足が主にあげられている。必要な DX の取組では、ペーパーレス化やクラウド導入、基幹システム導入などが挙げられている。

■DX についての取組を行っているか



■DX を推進する上での課題

項目	割合
DX 推進上の課題（上位 5 位）	
IT に精通した人材が足りない	38.6%
DX 推進に割ける人材が足りない	25.8%
予算の確保が難しい	22.6%
情報セキュリティの確保が難しい	19.3%
具体的な成果がわかりづらい	19.3%

■DX について必要な取組

項目	割合
DX について必要だと思う取組（上位 5 位）	
文章の電子化・ペーパーレス化	61.3%
クラウドの導入	40.0%
販売・在庫管理や会計など基幹システムの導入	37.5%
営業・会議等のオンライン化	28.8%
AI の導入・活用	26.3%

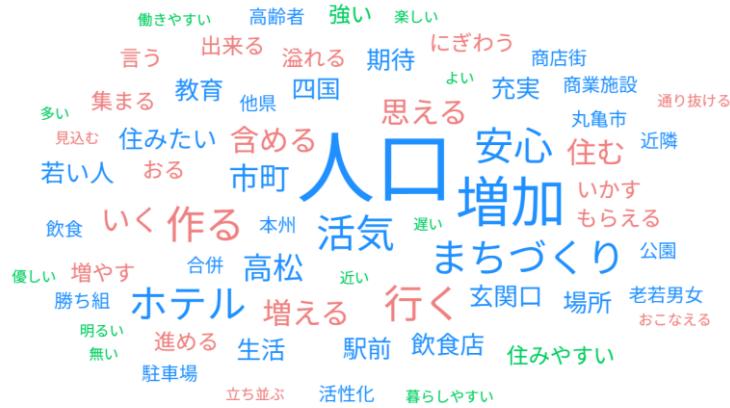
■業種別クロス

	回答した事業者の業種		回答した事業者の業種
既に取り組んでいる	製造業／医療、福祉／その他サービス業／教育、学習支援業	取り組めていない	建設業／鉱業、採石業、砂利採取業／複合サービス業
取組を検討している	卸売業、小売業／農業、林業	取り組む予定はない	宿泊業・飲食サービス業／不動産業、物品賃貸業／生活関連サービス業、娯楽業／電気・ガス・熱供給・水道業／運輸業、郵便業

※クロス集計にて、1 番多い回答の箇所のみ記載。
※同割合の業種は傾向が読めないため不記載。

問 18 坂出市の将来のまちの姿・イメージ

人口の増加も含めた住みやすい（暮らしやすい）まちづくりが望まれている。



順位	名詞	動詞	形容詞
1 位	人口	作る	住みやすい
2 位	増加	行く	強い
3 位	まちづくり	含める	暮らしやすい

※自由記述の中で、出現した単語の数を集計・分析